

朴 珠 抄

能村研三推薦

瞬きをせぬ梟の殺気かな  
行く秋やチェロの啼きたる鳥の歌  
行く川の生絹びかりや秋惜しむ  
追熟のいよいよ乾反る唐辛子  
どの向きに置いても傾ぐ花梨の実  
素手といふ道具勤労感謝の日  
獣道消すため落葉たんと降る  
鶏頭を撫でてやつては種を採る  
寄り添うて弾き合うては木の実独楽  
痛さうに残つてゐたり桃の種  
十一月の竹林雄雄しくて閑か  
柘榴の実ざつくばらんの話さうよ  
一瞬の異界を見せて稲びかり  
秋天の極みへブルーインパルス  
厄晴の艶へうたんの柿色に

内山花葉  
平松うさぎ  
菊地光子  
大沢美智子  
能美茅柴  
七田文子  
峰崎成規  
荒井千佐代  
道端 齊  
大川 ゆかり  
甲州 千草  
細川 洋子  
村上 葉子  
澤田 英紀  
兵藤 惠